

## 平成17年3月期 第3四半期業績の概況（連結） 平成17年2月14日

上場会社名 株式会社ガイドーリミテッド （コード 3205 東証第1部 名証）

代表者 取締役社長 武井 勇  
問合せ先責任者 経営管理室長 和賀 勇 （TEL (03) 3257 - 5022）

### 1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

売上高の会計処理の方法の最近連結会計年度における認識の方法との相違の有無 : 無

### 2. 平成17年3月期第3四半期業績の概況（平成16年4月1日～平成16年12月31日）

#### (1) 売上高 (注)百万円未満は切捨てて表示しております。

	百万円	%
平成17年3月期第3四半期	22,203	0.3
平成16年3月期第3四半期	22,260	-
(参考)平成16年3月期	30,533	

(注) 1. 売上高は、当該四半期までの累計値であります。

2. 前期より四半期業績の開示を行っているため、前年同四半期実績の増減率につきましては記載しておりません。

#### [売上高に関する補足説明]

当第3四半期のわが国経済の発表される指標は、すこしづつ明るい兆しを示し日経平均株価も上昇してまいりましたが、双子の赤字をかかえるアメリカ経済の先行きの不透明感から円ドル為替相場がさらに円高に進行し日本経済の建て直しの重しとなっております。

当社グループの売上は、「お客様第一」「品質本位」の基本理念を基に営業活動を推進いたしましたが、暖冬等の気候不順にも災いされ、前年をわずかながら下回る結果となりました。

衣料原料事業におきましては、自家消費比率の向上を進め生産効率の向上・収益の改善に努めましたが、当社グループの取り扱う高級品分野におきましては、流通在庫が多く新たな受注につながらない状況となっております。手編み毛糸におきましてもボリュームゾーンマーケットの縮小等、業種全体で非常に厳しい状態が続いております。

衣料製品事業におきまして、株式会社メンズニューヨーカーの売上は、前年同期比3.8%減となり、株式会社レディースニューヨーカーの売上高は、前年同期比4.7%増となりました。ジャルダン株式会社は、不採算店舗の退店・取引形態の見直し（消化売上化）を進めており、この結果市況の悪化もあり前年同期に比べ大幅に売上が減少（24.9%減）し、計画に比べ非常に厳しい状況となっております。

不動産賃貸等事業は、平成14年12月にオープン致しましたシネマコンプレックスの効果もあり順調に推移しております。

(2) 当該四半期において企業集団の財政状態および経営成績に重要な影響を与えた事象  
該当する事象は発生しておりません。

### 3. 平成17年3月期の連結業績予想(平成16年4月1日~平成17年3月31日)

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益	1株あたり予想当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
修正	30,500	1,550	650	17 57
発表数値	31,000	3,000	1,800	53 16
増減率	1.6%	48.3%	63.9%	

#### 業績予想の修正の説明

[売上高に関する補足説明]に記載いたしました内容が主な原因ですが、予想連結経常利益に影響の大きい連結子会社の業績予想は、下記の通りです。

当連結会計期間より中国の連結子会社の決算日(12月決算のため、当連結会計期間は9ヶ月)における財務諸表により連結することといたしました。これにより売上総利益で約100百万円減少いたしております。今後、中国販売の拡大に伴い事業所・店舗が増加いたしますが、情報開示の迅速性を向上させるため変更いたしております。

株式会社メンズニューヨーカーは、暖冬等気候不順にも災いされ売上高も前年に達しない見通しであり、株式会社レディースニューヨーカーとともにハウス・チェックプロモーションの広告宣伝費約200百万円の経費増もあり経常利益が減少いたします。ジャルダン株式会社は、消化取引への変更の影響もありますが大幅な売上の減少により増加した在庫処分(廃棄)271百万円を行い改革の大部分を完了させる予定であります。

持分法損益につきましては、株式会社ブルックスブラザーズジャパンの出店を加速しておりその費用計上により持分法損益も約150百万円減少する予定であります。

株式会社ダイドーリミテッドが保有しております外国株式投信(チャイナオープン)につきまして当期において配当金は入金いたしましたが、配当権利落ち後の価格が簿価を下回っておりまして結果、特別配当として簿価を減額させる処理をいたしました。このため、受取利息・配当金が既発表数値より301百万円減少いたしております。

また、管理部門を主とする改革を進める中で、小さな本社を目指し賃金体系の見直し等のリストラに伴う早期退職者の特別退職金の増加額230百万円の計上等により当期純利益が減少する予定であります。

## 記

	増減額 (百万円)			増減額 (百万円)		
	売上高	計画比	前年比	経常利益	計画比	前年比
メンズニューヨーカー	4,748	232	142	51	267	150
レディースニューヨーカー	8,679	258	506	743	236	248
ジャルダン	2,848	811	773	585	486	275

注) レディースニューヨーカーには、ニューヨーカーカゾック事業の数値を含んでおります。

(参考) 平成 17 年 3 月期の個別業績予想 (平成 16 年 4 月 1 日 ~ 平成 17 年 3 月 31 日)

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益	1 株あたり予想当期純利益	
	百万円	百万円	百万円	円	銭
修正	5,500	1,900	1,350	36	50
発表数値	5,500	2,300	1,500	44	30

#### 4. 配当金の予想

当期の配当予想につきましては、連結経常利益の 30% (特別損益の影響を除いた連結当期純利益の 50%) を基準として配当を実施することといたしておりますが、当連結会計期間におきましては、中国子会社の連結期間の変更による影響、株式会社ジャルダンの改革の遅れ、持分法適用会社の出店費用等、来期には解消されるものと考察いたしており、安定的な利益の還元の観点から当期の配当金は 1 株当たり 25 円 (発表予想配当 1 株当たり 25 円) とする予定です。

(注) 業績予想には、本資料の発表日現在の将来に対する前提・見通し・計画に基づく予想が含まれております。

経済状況・競争状況・為替の変動等に関わる不確定要因により実際の業績が記載の数値と大幅に異なる可能性があります。